



リーグ戦展望 ~どうなる2008~

今年もこの季節がやってきた。第82回関東大学サッカーリーグ戦〔前期〕の幕開けだ。昨シーズンは明治大学の43年振りの優勝で幕を閉じたリーグ戦。今シーズンは一体どうなるのか。駒大の優勝はあるのか。2008年を占う。

昨シーズン主力の大半を担っていた4年生が卒業したため、「今年の駒大は完璧なチャレンジャー」と主将の鈴木寿毅は語る。DFラインにさほど変化は無いが前線は様変わりを見せる。チームがフィットする間、リーグ戦の序盤は苦戦が強いられるだろう。

そんな駒大を今シーズン最も苦しめると予想される相手は流通経大。先日行われた韓国との定期戦では全日本大学選抜として5人が出場。MF三門は大会のMVPにも選出された。彼のゲームメイクには要注意だ。また、冬の全国高校サッカー選手権大会において優勝を果たした流通経大大学付属柏高からは多くの選手が入学。チームの底上げも期待される。流通経大とは第3節での対戦。ここでの勝敗がその後のリーグ戦を大きく左右するだろう。

早大も忘れてはならない。駒大同様、主力の大半が抜けたが、2年連続リーグ戦得点王・渡邊はいまだ健在。韓国との定期戦でもゴールを決めた大学NO.1FWとしての実力を見せ付けた。DF陣が如何に仕事をさせないかが勝負の鍵を握る。

強豪ひしめく関東大学サッカーリーグ。この2校の他にも、昨シーズン優勝の明大やインカレ準優勝の法

大など、一筋縄でいかない相手が揃う。

それでも駒大が目指すのはあくまで「優勝」。決して楽では無いがチーム一丸となって持ち前の駒大魂を発揮すれば無理な事ではないだろう。2008年の駒大はどうなるのか。「挑戦者」が「王者」になれるのか。その答えが分かるのはまだまだ先の事である…。



(右) 流通経大の三門雄大。日韓定期戦ではMVPを獲得

(左) 早大の渡邊千真。現在大学NO.1FWといわれる逸材